

安足土木事務所管内図

① 一般県道 電舞足利線 足利市 山下町

- 快速で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画：L=約1,100m W=14.5m C=約18億円
- 事業期間：令和5(2023)年度～令和9(2027)年度(予定)



本路線は、群馬県太田市を起点とし、足利市中心部に至る幹線道路です。現在足利市の中心部では主要な交差点を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、足利市ではこれらの課題解決に向けて(仮称)足利スマートICを計画しております。そこで、広域的な交流・連携の促進や産業・経済の活性化、災害時における安定的な輸送経路の確保等を目的に、スマートICのアクセス路となる本バイパス道路の整備事業を令和5年度に着手しました。今年度は用地測量を進めます。

② 一般県道 佐野太田線 足利市 川崎橋

- 道路保全事業費(補助)
- 全体計画：L=約389m W=9.0m C=約11.7億円
- 事業期間：令和3(2021)年度～令和7(2025)年度(予定)



本路線は、佐野市を起点として渡良瀬川を横断し群馬県太田市に至る、日光例幣使街道の一部としても古くから利用される重要な路線です。渡良瀬川に架かる川崎橋は昭和55年に架橋されてから43年が経過し老朽化が進んでおり、早急な補修が必要です。そこで、安全で安心な通行を確保するため、長寿命化修繕計画に基づき補修工事を令和3年度に着手しました。今年度は、上部工の塗替塗装工を行います。

③ 一般県道 佐野太田線 足利市 福居町

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約1,200m W=14.0m C=約11億円
- 事業期間：令和2(2020)年度～令和12(2030)年度(予定)



本路線は、佐野市を起点として足利市南部を東西に横断し群馬県太田市を結ぶ重要な路線です。しかし、足利市福居町地内においては御厨小学校の通学路となっているにもかかわらず、歩道が狭く、通学児童の安全な通行に支障をきたしています。そこで、歩行者及び車両の安全で円滑な通行を確保することを目的に、歩道整備事業を令和2年度に着手しました。今年度は用地取得を進めます。

④ 主要地方道 佐野田沼線 佐野市 上町西

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約900m W=20.0m C=約10億円
- 事業期間：令和2(2020)年度～令和10(2028)年度(予定)



本路線は、佐野市を南北に縦断し、地域の産業・生活を支える重要な路線です。しかし、整備区間においては吉水小学校の通学路となっているにもかかわらず、歩道が狭く、さらには大型車の交通量が多いことから、通学児童の安全な通行に支障をきたしています。そこで、安全で円滑な通行を確保するため、歩道整備事業を令和2年度に着手しました。今年度は、用地取得及び歩道拡幅工を進めます。

⑤ 一般県道 築地吉水線 佐野市 築地町～中町【佐野東部幹線道路】

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約2,700m W=15.0m C=約24億円
- 事業期間：平成26(2014)年度～整備中



本路線は、旧葛生町中心部と佐野・田沼市街地を結ぶ重要な路線であり、佐野市総合交通マスタープランにおける「東部幹線」の一部に位置づけられています。また、現道は大型車交通量が多いにもかかわらず、線形が屈曲し、歩道も未設置の状況です。そこで、快速で安全な通行を確保するため、バイパス道路の整備事業を平成26年度に着手しました。今年度は、用地取得及び道路改良工を進めます。

⑥ 一般県道 作原田沼線 佐野市 船越町

- 快速で安全な道づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約1,540m W=15.0m C=約9億円
- 事業期間：平成27(2015)年度～令和5(2023)年度(予定)



本路線は、佐野市作原地区と旧田沼市街地を結び、生活・産業を支える重要な路線です。しかし、佐野市船越町付近の現道においては大型車交通量が多いにもかかわらず、歩道がなく幅員も狭小であることから、安全で円滑な通行に支障をきたしています。そこで、円滑な車両交通と歩行者の安全確保を目的に、バイパス道路の整備事業を平成27年度に着手しました。今年度は、道路改良工及び舗装工を進めます。

⑦ 一級河川 旗川 足利市 寺岡町

- 大規模特定河川事業費(補助)
- 全体計画：L=約2,200m W=42.0m C=約19億円
- 事業期間：令和2(2020)年度～令和10(2028)年度(予定)



旗川は佐野市作原町から南下して、足利市寺岡町を経て佐野市高橋町で渡良瀬川に合流する流路延長32.5kmの一級河川です。令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う豪雨出水により、足利市、佐野市において越水による甚大な浸水被害が発生しました。そこで、特に河道断面が狭小な稲岡橋からJR両毛線までの約2.2kmの区間において河積を拡大するため、令和2年度から河道掘削や樹木伐採等の工事に着手しました。今年度は、用地取得及び河道掘削等の工を進めます。

⑧ 一級河川 姥川 足利市 高松町

- 安全な川づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約3,300m W=19.1m C=約29億円
- 事業期間：令和2(2020)年度～令和21(2039)年度(予定)



姥川は足利市福富町から矢場川に至る流路延長5.5kmの一級河川です。このうち、上流端から高松町姥川合流点までの約3.3kmにおいては、河積が小さいため、台風や豪雨時に宅地や農地等への浸水被害が発生しています。そこで、氾濫を防止し浸水被害の軽減を図るため、河積を拡大する事業を令和2年度に着手しました。今年度は、用地取得及び設計を進めます。

⑨ 一級河川 菊沢川 佐野市 堀米町

- 安全な川づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約4,400m W=27.0m C=約30億円
- 事業期間：平成24(2012)年度～令和13(2031)年度(予定)



菊沢川は、佐野市板本町から渡良瀬川に至る流路延長13.1kmの一級河川です。菊沢川上流の旧田沼市街地においては河積が小さいことから、台風や豪雨時に浸水被害を生じていました。そこで、近年整備した菊沢川放水路と相まって流域の洪水被害の軽減を図るため、河積を拡大する事業を平成24年度に着手しました。今年度は、用地取得及び設計業務を進めます。

⑩ 一級河川 秋山川 佐野市 大橋町

- 河川激甚災害対策特別緊急事業
- 全体計画：L=約3,000m W=60.0m C=約57億円
- 事業期間：令和元(2019)年度～令和6(2024)年度(予定)



- 災害関連事業
- 全体計画：L=約250m W=60.0m C=約5億円
- 事業期間：令和元(2019)年度～令和4(2022)年度



令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う豪雨出水により、佐野市赤坂町及び大橋町地内の2箇所において決壊し、甚大な浸水被害が発生しました。この災害に対して、決壊箇所を含め秋山川の菊沢川放水路合流点から下流約3,000mの区間において、「河川激甚災害対策特別緊急事業」及び「災害関連事業」が採択され、今回と同程度の洪水に対し、家屋の浸水被害を解消するため、令和元年度から河道掘削や河道拡幅等の改良復旧に着手しました。また、大橋(都)前橋水戸線の架け替え影響区間については、令和2年度から街路整備事業に着手しました。今年度は、引き続き護岸工を実施するとともに、大橋の架け替え工事等を進めます。

⑪ 本城一丁目A 足利市 本城一丁目

- 砂防施設づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約190.5m C=約2億円
- 事業期間：令和2(2020)年度～令和6(2024)年度(予定)



本城一丁目Aは足利市本城一丁目に位置し、人家16戸を保全対象とする急傾斜地です。斜面の崩壊により土砂災害特別警戒区域内の人家に著しい被害を及ぼすおそれがあるため、早急の対応が求められています。そこで、地域住民の安心安全を確保するため、落石防護柵整備事業を令和2年度に着手しました。今年度は、崩壊土砂防護柵工を進めます。

⑫ 都市計画道路 3・5・102号家富町堀込線 足利市 中橋(通2丁目～南町)

- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画：L=約640m 橋梁部W=19.8m 高架部W=22.0m C=約107億円
- 事業期間：令和3(2021)年度～令和9(2027)年度(予定)



本路線は、足利市の南北市街地を結ぶ重要な路線であり、一級河川渡良瀬川にかかる中橋の三連アーチは、足利市のランドマークとして市民に親しまれ、魅力ある景観を形成しています。しかし、中橋北側のJR両毛線踏切部周辺では、朝夕を中心に渋滞が発生しているほか、幅員も狭いため安全な通行の支障となっています。また、中橋架橋部においては、堤防が低く出水時に氾濫の恐れがあるなど危険な状態となっています。そこで、国・足利市と連携して、堤防の嵩上げとあわせて中橋の架け替えやJR両毛線交差部の立体交差化を進めることとし、地域の安全・安心と円滑な通行を確保することを目的に、令和3年度に事業着手しました。今年度は、橋梁の下部工を進めます。

凡 例			
	高速自動車国道		一級河川
	一般国道		直轄河川
	主要地方道		市役所
	一般県道		関係官庁
	計画道路		J R 鉄道
	通行不能道		その他の鉄道

13 都市計画道路 3・4・1号前橋水戸線

佐野市 高砂町

- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約300m W=18.0m C=約12億円
- 事業期間: 平成27(2015)年度~令和5(2023)年度(予定)



本路線は、北関東3県を結ぶ都市間連絡軸であるとともに、佐野市においてはまちづくりを進める上でも重要な路線です。しかし、本事業区間には、市役所、鉄道駅及び商業施設があり、通勤、通学等による通行が多いにもかかわらず、現道南側には歩道がないため、車両と歩行者が錯綜して安全な通行に支障をきたしています。そこで、安全安心な通行を確保するとともに街並み景観の創出、都市防災機能の向上を図るため、道路の拡幅及び電線類地中化事業を平成27年度に着手しました。今年度は、用地取得及び電線共同溝工事を進めます。

14 都市計画道路 3・4・3号赤見馬門線

佐野市 高萩町

- 街路づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約1,400m W=16.0m C=約21億円
- 事業期間: 平成29(2017)年度~令和5(2023)年度(予定)



本路線は、佐野市を南北に縦断する都市間連絡軸であり、国道50号へのアクセスや地域の経済活動及び通勤通学を支える重要な路線です。本事業区間の近隣には大型商業店舗が立地していることから、土日・休日を中心に渋滞が発生しています。そこで、車道の3車線化や交差点改良、歩行者・自転車の通行帯分離により、交通容量の拡大、安全性の向上を図るため平成29年度から事業に着手しました。今年度は、用地取得及び道路改良工事を進めます。

A 一般国道 293号

足利市 助戸新山町

- 快適で安全な道づくり事業(補助)
- 全体計画: L=約250m W=16.0m C=約12億円
- 事業期間: 平成25(2013)年度~令和4(2022)年度



本路線は、栃木県を横断し、複数の都市間を連絡する重要な路線です。しかし、整備区間においては、道路が屈曲し、歩道幅員も十分でなかったため、安全で円滑な通行に支障をきたしていました。このため、平成25年度からバイパス道路の整備を進め、令和5年3月に完成しました。本事業により、県では円滑な車両通行と歩行者の安全確保、都市間ネットワークの強化を図ることができました。

B 高原沢

佐野市 仙波町

- 砂防施設づくり事業費(補助)
- 全体計画: L=約52m C=約2億円
- 事業期間: 平成28(2016)年度~令和4(2022)年度



高原沢は、佐野市仙波町に位置する流域面積4.7haの土石流危険渓流です。土砂災害警戒区域には人家10戸に加え、要配慮者利用施設及び一般県道仙波鍋山線も含まれており早急な対策が求められています。そこで、地域住民の安心安全を確保するため、砂防えん堤整備事業を平成28年度に着手し、令和4年7月に完成しました。本事業により、流出土砂による被害を未然に防ぐ効果が期待されます。

足利庁舎案内図

(管理部・企画調査部・用地部・整備部・保全第一部)



この案内図は、足利市の主要な施設や交通機関の位置を示しています。赤いマーカーで「安足土木事務所(足利庁舎)」の位置が示されています。また、市役所、駅、公園などの位置も確認できます。

安蘇庁舎案内図

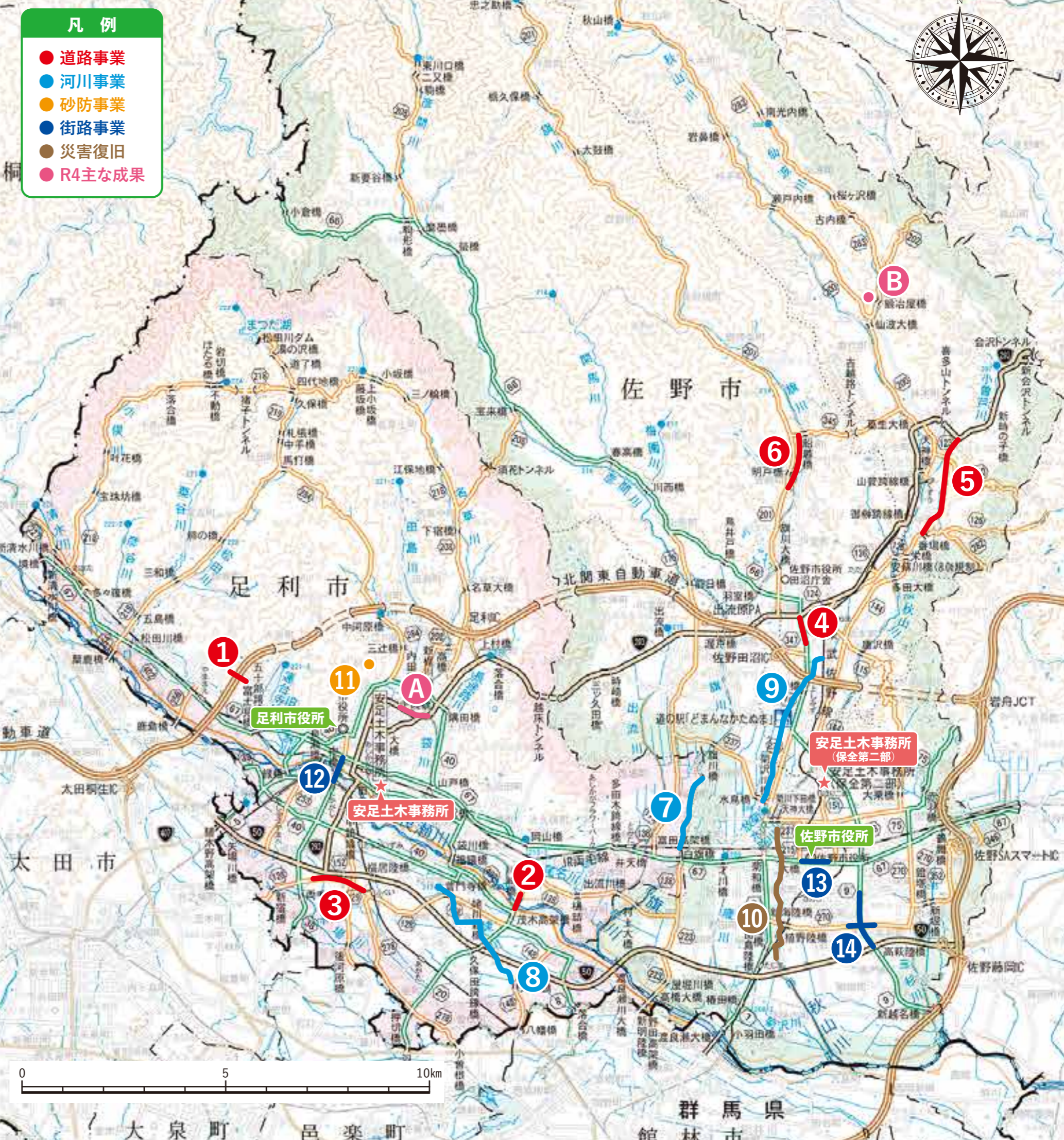
(保全第二部)



この案内図は、安蘇市の主要な施設や交通機関の位置を示しています。赤いマーカーで「安足土木事務所(安蘇庁舎)」の位置が示されています。また、市役所、駅、公園などの位置も確認できます。

凡例

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- 街路事業
- 災害復旧
- R4主な成果



この地図は、北関東3県(群馬県、栃木県、茨城県)の境界を示し、佐野市、足利市、太田市、館林市、大泉町、邑楽町などの市町村の位置を示しています。14のプロジェクトの位置が色別にマーカーで示されています。また、主要な道路(国道50号、北関東自動車道)や河川(荒川、利根川)も表示されています。赤いマーカーはR4の主な成果を示しています。スケールは0から10km、北緯を示すコンパスも含まれています。